

第3回防府市生涯学習推進計画策定委員会 会議要旨

- 1 開催日時 令和3年10月19日（火）9時30分から10時30分まで
- 2 開催場所 文化福祉会館3階4号大会議室
- 3 出席委員 14人
- 4 概 要 （発言要旨の文書表現は、簡略化しています）

（以下「防府市生涯学習推進計画策定委員会」を「委員会」として表示する。）

- （1）開会
- （2）委員長あいさつ
- （3）議事

（委員長）

議事（1）「第2回委員会での意見等への対応について」、事務局から説明をお願いします。

（事務局）

（1）「第2回委員会での意見等への対応について」、説明。

（委員長）

何か御意見等あればお願いしたい。

（A委員）

目標指標における基本目標2の市民活動支援センターの登録団体数について、資料2によると、毎年5%増は現実的ではないという意見を受けて、担当課と協議をされて215団体にされたと思うが、215団体とした根拠を教えてください。

（事務局）

担当課には明確には聞いていないが、現状を踏まえた上で設定したものである。

（A委員）

215団体という数字は、最低限、達成すべき目標指標であると捉えている。担当課とすり合わせをしながら、積極的に市民活動を広げていくという姿勢が市民の方に伝わるようにしてほしい。

（委員長）

議事（2）「第3次防府市生涯学習推進計画案について」事務局から説明をお願いします。

（事務局）

（2）「第3次防府市生涯学習推進計画案について」説明。

（委員長）

何か御意見等あればお願いしたい。

（B委員）

感想であるが、事務局には短期間で修正作業をしていただき、すごく良い計画案が仕上

がり嬉しい。

(委員長)

計画策定に関する今後のスケジュールを事務局に伺いたい。

(事務局)

今後、本日の意見等を踏まえて修正し、計画案を作成し、今月 26 日の推進会議において報告を行う。11 月以降は、教育委員会や議会に説明を行い、12 月から 1 月にかけてパブリックコメントを行う。それらを踏まえた最終案を 3 月の教育委員会及び議会において議決をいただく予定である。パブリックコメントの結果は委員にお伝えする予定であるが、軽微な修正であれば、委員長と事務局で調整をさせていただきたい。

(委員長)

最後の会議なので、各委員の方から感想や決意表明などをいただきたい。

(C委員)

今後、取組の評価を行う際には、人口が減少していることを踏まえる必要がある。

(D委員)

バランスの取れた計画案が完成した。特に、第 5 章（生涯学習の推進に向けて）における計画の推進に向けての記載が前向きで良い。

(E委員)

生涯スポーツの推進について、今年度からほうふスポーツフェスタが開催される予定であるが、実際に市民の誰もが参加できるようにするには、サポート体制が重要である。

(F委員)

会議に参加させていただき、非常に勉強になった。SDG s は、子どもたちにとっては難しいことかもしれないが、2030 年に向けて取り組んでいきたい。

(G委員)

決意表明であるが、私の勤めている高校では、今年度、市民活動フェスタにおいて人の交流を創出するような新しい取組を始めた。この取組により、生徒は、様々な団体と関わりながら市民活動という存在に触れ、人生の先輩方がどのような形で生涯学習をされているのかを学ぶことで大きく成長することができた。今後も、取組をより良くしながら人材を育てていきたい。

(H委員)

学校の立場から取り組んできたが、計画案に地域連携教育についての記載を組み込んでいただいて感謝している。今後も、子どもたちの成長のために生涯学習の力をお借りしたい。

(B委員)

「不易と流行」という言葉があるが、公民館活動などの不易なものを大切にしつつ、SDG s などの新しい取組をバランスよく取り入れていくことが重要である。

(I委員)

教育委員会の会議に出席するのは初めてだったが、参加して良かった。基本理念も気に

入っている。今年度、初めて開催するほうふスポーツフェスタにぜひ委員の皆さんも来ていただきたい。

(J委員)

解説も含めて良い計画案となった。先日、開催された市民活動フェスタは、まさに計画案の基本理念に沿うような理想的な内容であった。

(K委員)

大変貴重な経験をさせていただいた。公民館が充実し、地域の方と協力しながら地域の発展につながればと思う。

(L委員)

今回、PDCAにおけるプランの部分が完成したので、今後の実施や点検（評価）、見直し（改善）が円滑に進むことを祈る。新しい言葉については、用語解説をすることを心掛けてほしい。また、理由があると思うが、子ども読書活動推進計画の計画期間が上位計画と異なっていることが気になった。

(M委員)

防府市では、出生数が減っている。コロナ禍もあり、親子に寄り添えない部分もあり、苦慮しているが、どうにかウィズコロナで母親に寄り添っていききたい。

(N委員)

社会教育委員の会議では、今年度、大人の学びと子どもの学びについて検討を進めてきたが、それらの充実についても踏まえた計画案になった。今後は、色々なテーマを持って活動をしていきたい。

(委員長)

今回、PDCAにおけるプランの部分は完成したと思う。今後はチェック（点検・評価）が重要になる。基本目標に照らして生涯学習の取組を評価していく必要がある。今後も委員の皆様にはお力添えいただきたい。

(4) 閉会